

本主義級進國にして、労働階級の勢力の未だ熟せざるに歐洲大戦後の思想的激流に見舞はれの結果、必然的に出た趨勢である。我等は過去に於ける我等の努力が、労働階級に貢献する所多大であつたことを認むると同時に、其の運動過程に於て、已むを得ざる過失を犯したことも亦認めねばを得ない。我等が過去の過失を認め、而して之が反省に留意すること、亦、亦かて將來の運動、發展に貢献する所以である。

吾等は茲に、断乎として吾等の運動が現實に歸すべきことを宣明する。吾等は今後、運動方針と

今後の労働運動の根本的態度、確立

普通問題

国際労働會議

戦術とに十分の意を用ひて、之が現實に三脚を置く努力の仕方は如何。吾等の運動は、徒らに抽象理論に依つては、現実の必要に依つて左右されはれはば如何。吾等は如何なる改良的手段と雖も、それが労働組合發達のための現実的必要を感じる以上、進んで之れを利用するを憚らぬ。吾等は普通進実施後に於て、選挙権を行使して、バルカヨア政治舞台に侵入し、以て吾等の政治的利益を獲得し、又国際労働會議に或る程度に於て、之れを利用して、微弱なる我國労働組合の爲めに計るべきである。吾等は純理的潔癖を棄て、勇力敢に現實政策の活用に努力すべきである。我總同盟は思想心